

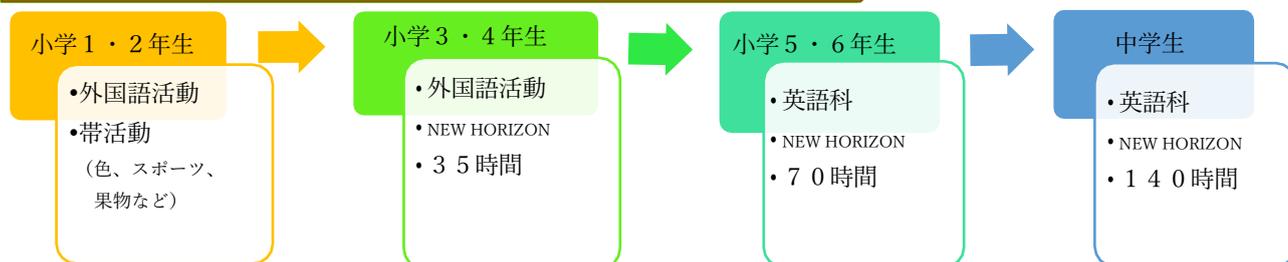
# 久賀小学校の英語教育について

世界では、急速にグローバル化が進んでいます。そこで五島市では、グローバル社会で通用する力を身に付けるために、1年生からの早期英語教育に取り組んでいます。

久賀小中学校では、他県からのしま留学生が多く学んでいます。小学生と中学生が共に英語を学ぶ英語集会 CatchE を中心に、異学年交流を中心とした英語教育に取り組んでいます。

久賀小学校では、効果的なアクティビティを取り入れながら、外国語活動を楽しく学習しています。また、中学校英語教員が小学校で授業を行うことで、より小中連携を意識した授業づくりを行っています。また、週に一度 ALT が来校する時には、一人一人が積極的に話しかけ、コミュニケーションを取れるような取組を行っています。

## 久賀小学校の英語教育の流れ



## 英語教育の成果と課題

### 【成果】

- 通常の授業に加え、月に2回程度の CatchE (英語集会) を行っている。その成果もあり、全員がスピーキングに抵抗がなくなり、自信をもって活動に取り組むことができるようになった。また、小中学校の利点を生かし、中学生が小学生に教えるなど、異学年での学習が豊かな表現力につながっている。

### 【課題】

- 島外からのしま留学生が多く、1年ごとにメンバーの入れ替わりがあるため、指導の積み重ねが難しい。  
(児童生徒によっては複数年在籍している)
- 少人数であるため、会話の相手が固定化されてしまう。他校との交流学习やリモートでの交流を行い、コミュニケーション力を高める環境を整える必要がある。



学校評価の結果 4点満点中

- 児童生徒「私は英語の学習に積極的に取り組んでいる。」3.6
- 保護者「学校は積極的に英語教育に取り組んでいる。」3.8

地域の声「学習発表会で、児童・生徒の授業で取り組んだ英作文が展示されているのを見て、早くから英語の学習に取り組むことの大切さがわかりました。」